



加吉だより

加古小学校通信
令和5年4月号
No.2 (318号)

「一番上」の責任

校長 吉田 博明

<昨日は寝られなかったです>

今週から給食が始まりました。稲美町の給食は、何年も続けて近畿農政局長賞を受賞する自慢の給食です。火曜日からは一年生も食べ始めました。お祝いのゼリーやおめでとうクッキーも！みんな喜んで食べていました。

給食初日の月曜日、「やっぱり給食はおいしいな。」と思い、そのことを伝えに給食室へと向かいました。するとすぐさま「校長先生、給食どうでしたか？」と聞かれたので、「とっても美味しかったです。やっぱり給食がないとあかんわ。」と答えました。「良かったあ！」という声とともに、「昨日、緊張して寝られなかったんです。」とのこと。昨年度まで、主で給食を作っていた方が転勤され、今年度から新しい方が加古小給食調理員さんの一番上になりました。稲美町の給食は、どの学校でもメニューは同じで、レシピも一緒。食材も一緒です。でも、調理員さんによって、微妙に味の違いがあると言われています。新しく主になられた方は、「もし、私が主になった途端、おいしくないと言われたらどうしよう。」と不安で前日は眠れなかったのです。みなさん、給食は美味しいですか？ぜひ、調理員さんに出会ったときは、「美味しかったです。」と伝えてあげてください。きっと喜ばれますよ。



<6年生、「一番上」の責任>

いよいよ新入生が入学してきました。月曜日の入学式には、6年生が在校生を代表して、出席しました。その態度も立派でしたが、その準備や片付けをテキパキやってくれて、とても助かりました。準備の最初には、担任の先生が「準備はどうやってやりますか？」と、問いかけから始まりました。異動してきたばかりの先生は「え、いきなり任せて大丈夫？」と不安になったそうです。少ない時間でしたが、先生からもらったプリントを見ながら、自分たちで指示をしてきちんとやり遂げてくれました。片付けも時間が少なかったけれど、何とか下校時刻に間に合いました。さすが最高学年、一番上の学年です。これからいろんな場面で「一番上の責任」がかかってきます。それを一つずつ乗り越えることで、より成長できると思います。6年生のみなさん、これからもよろしく願います。

